

我が総同盟は茲に断手として吾等の運動が現實に主脚すべきことを宣明する。労働組合は思想的又は政治的団体ではない。我等は階級的利害の一致により分ちせる労働組合の合同集中は勿論組織せざる全労働階級の結束を計り、現實的利益を擁護して、終局の目的に向て進むべきものである。従て吾等はたとへ改良の手段と雖も、それが労働組合発達のための現實的必要を感ずる以上、進んで之小を利用すべしである。吾等は普選実施後に於て選挙権を行使してブルジョア政治舞台に侵入し、以て吾等の政治的利益を獲得し、又国際労働會議に就ても之が対策を慎重に考慮し、以て我國労働組合の爲めに計るべきである。

言ふまでもなく吾等戰鬥的労働組合の戰士は、鮮明なる階級意識と堅實なる階級道徳を備へて居る。故に我等はたとへ改良的手段を採用するも之の爲めに改良主義に墮す所恐なきは勿論牽る之に依りて真に労働階級の地歩を開拓すものなることを確信する。

吾等は反動勢力の特に強烈なる我國支配階級の陣營を前に労働階級の中堅として、常に難局に當りて居る。吾等は今後と異に労働階級解放戰の陣頭に立ち、喜んで献身的奮闘を續くべきことを茲に誓明する。

(中央委員會の草案)